叙任賞勳

○明治十五年十一月三十日分

陸軍歩兵少尉正八位勳七等　山田　讓助

叙勳六等賜單光旭日章

○仝年十二月十九日分

陸軍歩兵大尉正七位　加茂　敬直

仝　仝　岡村　信秀

仝　仝　新保　正

仝　仝　淵本　久續

仝　歩兵中尉從七位　末弘　孝彝

仝　仝　上田　正

叙勳六等賜單光旭日章

時事新報

米國談(前號ノ續)

彼國ハ眞成ニ沃野千里ナルモノニシテ地味素ヨリ磽确ナラズ墾成ノ土地亦少シトセズ農産牧畜將サニ大ニ起ラントス然レ𪜈廣漠タル原野未墾ノ地尚ホ甚ダ多ク疆土ニ準シテ人口米々繁ナラザルハ勿論ナリ故ニ一人ノ有スル所甚ダ廣大ニシテ近來深ク不毛ニ入リテ開墾移民ノ事ニ從フモノモ區々小經界ヲ爭ハズ一人ニシテ二三千「エークル」以上ヲ以テ之カ區域トナシ(一「エークル」一弗ニテ拂下ケヲ受ク)牧畜又ハ耕種ヲ勉メ將サニ大ニ其功ヲ奏セントス且其業ニ從フ者一輛ノ馬車ニ糧食ヲ載セ夫婦相携テ其場ニ赴クモ蓬髮龜服死力ヲ盡スノ狀ヲナサズシテ却テ盛服美裝ヲナシ逍遙トシテ餘裕アルハ其量ノ濶大ナルヲ想見スルニ足ル

今日ノ景況ヲ以テスルモ農産ノ重要ナル小麥玉蜀黍及ビ牛豚等外國ニ輸出スルノ量ハ實ニ夥シク就中穀物ノ如キハ總テ之ヲ粉製ニシテ英國ニ輸送シ英國過半ノ人民ハ此供給ヲ仰テ以テ饑餓ヲ免ル、有樣ナリ肉類ニ至テモ春夏秋冬ノ別ナク鮮肉ノ儘ニテ龍勳ニ輸送シ、(夏時ハ運航中氷ヲ以テ其肉ヲ冷シ腐敗セシメサルノ仕掛ヲナス)而モ其價ハ頗ル廉ナルヲ以テ英國ノ牧畜家ハ之レガ爲メニ半其業ヲ失ヒ往々資産ヲ倒スモノアルニ至ルト其勢實ニ盛ナリト謂フベシ

工業製造ノ事ニ至リテモ米國ハ毫モ舊慣ニ泥マズ他國ノ摸型ニ由ラズ別ニ一機軸ヲ出スヲ常トス隨テ新規發明ノ甚多シ例ヘハ小刀剪刀ノ如キ一種ノ形ヲナシ之ヲ一見スレハ不具不整ノ如クナレ𪜈其用ニ至リテハ實ニ便利ヲ極ムルモノ多シ凡ソ歐洲諸國日新ノ人ト雖𪜈器具ノ形體ノ如キ舊慣ヲ樣守スルノ弊ナキニアラザルモ脫然トシテ其弊ヲ除却スルハ米國人ノ獨有スル所トス

製造所ノ組織ハ多クハ二三人ノ組合ニ係リ合本會社ノ法ニアラズ蓋各經驗熟練アルモノ資金ヲ出シ均シク責任ヲ帶ビテ營業スルトハ各自ノ働ニヨリ大ニ利害損益ニ關スルヲ以テ注意勉勵怠ラズ能ク其功ヲ奏スルヲ得若シ僅々ノ資金ヲ集ムルカ爲メニ衆多ノ株金ヲ募ルカ如キハ不利不便ノコトシテ驚ダ稀ナルコトナリトス但千萬圓以上ヲモ要スベキ鉄道會社船舶會社ノ如キハ合本會社ノ法ニ依ル其以下ノ金額ハ然ラズ豫ニ製造ノ如キハ多人數集合スルモノアラザルナリ(方今我邦ニ行ハル、所謂會社ナルモノハ最僅少ノ資本ヲ集ムルヲ主トスルニ似タリ此組織トハ大ニ異ナルモノ、如シ)凡ソ工人ノ賃銀ハ一日二弗半乃至四弗位ナリ之ヲ商店ノ雇人等ニ比スレハ其額小ナリトセザルナリ但工人一日ノ食料ハ凡一弗ニシテ之ヲ以テ僅ニ三口ノ家族ヲ養フニタルノミ

彼國ノ商業ハ專ラ信用上ニテ取引ヲナスコトナレハ其注文ヲ受クレハ現金ヲ受領セザルモ直チニ巨額ノ貨物ヲ遠方輸送スルヲ常トス尤モ注文主ノ名前モ世ニ顯ハレザルモノハ其人物如何ヲ聞合ハスルコトアルモ多クハ商人錄一冊ヲ備ヘテ其人物ヲ檢定スルコトナリ商人錄ハ各地ノ商人凡千圓以上ノ資産アルモノハ各業トモ詳カニ探究記載シ索引ニ便ニス一冊價凡百弗ナリト

此ノ如キ有樣ニテハ貸金延滯或ハ狡猾ノ手段ニ陷ル恐ナキニアラザルモ總テ秘密ノ掛引少クシテ公然世ニ顯ル、モノナレハ紫外ニ延滯又ハ詐僞ノコト少シト偶延滯數月ニ及ブトキハ書ヲ以テ談地ノ代言師ニ依頼シテ掛合ヲナストキハ速カニ償償シ法庭ヲ煩スニ至ルモノハ蓋百中ノ二三ニ遇キズト云フ

當府ニテ最壯大最活發ナル商業ハ樣式取引所及ビ手形交換所是レナリ此場所ニ出入スル人物ハ多クハ上流ニ位シ巨頓ノ資金ヲ有スルモノニシテ各般ノ商業ニ裨益ヲ與フルコト甚大ナリ元來此同所ハ英國ヨリ摸範ヲ取リ來リタルモノナレドモ今日ノ景況ニテハ其勢甚ダ盛ニシテ時トシテハ歐洲ノ相庭ヲ動カスガ如キ有樣ニテ後來或ハ之ヲ凌駕セントスルニ至ルモ亦知ル可カラズ其他瓦斯會社電信會社ノ如キ尤廣大ナルハ世界ニ多ク見ザル所ナリ

各商社トモ總テノ仕拂勘定ニモ銀行手形ノミヲ使用シテ更ニ現貨ヲ用ユルコトナシ(十圓以下時トシテ現貨ヲ用ユルコトアリ)或ル商社ニアリテハ一弗以下猶手形ヲ用ヒ甲乙流通毫モ滯滯アルコトナシ故ニ銀行事務繁忙ナルハ實ニ謂フ可カラズ其他銀行取引ノ便アラザル處ニアリテハ郵便爲替ノ法アリテ其金高モ制限アルコトナシ但郵便爲替ハ轉用二回ニ止ルコトス

商賈ノ景況ハ常ニ盤遷駐リナク浮沈亦一定ナラズト雖𪜈要スルニ上進ノ勢アルハ勿論ナリ故ニ各商店トモ同一所ニ三四年以上定住スルコト至テ稀ナリト云フ目今彼地ニ開店シタル日本商ハ貿易商會、工商會社、森村組、同伸會社、日本商會等ニシテ各商品ハ生糸、茶(僅少)、雜貨ナリ支那商ハ雜貨ノ小唐ニ新アルノミ日本雜貨ハ陶器、漆器、銅器、絹織物ニシテ歐洲諸國ニ輸出シ彼國ノ日本品ノ故國ニ賣販セ

ラル、ハ只新奇ノ故ナルヲ以テ廣ク各地ニ流行スルニ及デハ復タ往時ノ如ク珍重セザルベシト云（未完）

雜報

○御料白馬　先年松方大藏卿より　聖上へ獻納ありし駿足ハ往古源右將が秘藏されて宇治の先陣をあしたる池月も斯くやと思ハるゝ雪白の月毛馬なりしが　聖上ハ白玉と名づけ給ひて殊の外御寵愛遊バされしハ昨年不圖病み出しぬるハど馬醫の人々は種々治術を盡さゞるも其効しなく斃れければ深く惜ませ給ひて青山墓地ハ接續せる南町四丁目なる梅窓院へ埋葬され御馬白玉の四字を肇太郎ハ書したる木標を建てらるゝとかや然るハまの程坊城歩兵大尉より獻納ありし名馬も同しく純白の毛色ハて二代の白玉ともいはさほゝきもれあればこをも御召ハあさんと掛り官の人々ゲ目下專らあらし中ありとゝ

○祭典　本日は豐明岡にて故三品博厚親王の初十日祭典を執行さるゝハ付　聖上両皇后宮より御代拜を全殿へ參向せし先ゝるよし

○御贈物　先頃伯林駐在の青木公使にハ我皇后宮の仰を承りて彼國耶蘇誕降祭日（昨年十二月二十五日）の御贈物として日耳曼オーガスト皇后より陶器花瓶一對を呈上せられ一面洋字新聞ハ見へゝ

○魯皇御即位　魯國皇帝ハは彼れ虛無黨あんいふ兇類のさめハ久しく御即位式を延はされ給ひし處一月十八日ハ新年の勅語を以て早々大禮を摸斯科府ハ於て施行あゝせらるべ旨を下し給ひしと聖彼得斯堡より同日電の電報ハ見へし

○柳原光愛君　華族正二位柳原光愛君ハは此程より胃病ハ罹られ久しく引籠り居らるゝハ付此程　聖上より御見舞として種々れ賜物ありしといふ

○杉公使　昨年布哇國皇帝戴冠式ハ付同國へ差遣されし杉全權公使の一行は去る十二日戴冠式も滯りあく相濟しハ依り直ちハ同地出發歸途ハ赴き桑港へ到着の旨一昨廿一日其筋へ電報ありたるよし

○山岡鐵太郎君　宮内省二等出仕山岡鐵太郎君にハ久々參内もせゝられざりしが昨日は天樹伺として參内せられしといふ

○廳規總監　野村縣廳總監には昨日元老院へ出頭せゝられしゲ聞く處ハ依ゝ今般郵便物印紙貼用ハ付ての諸則を改正せゝるゝよしにて餘て同院ハて會議中も忽夫等れ御用ハて出頭されしあらんといふ

○歸京　前號ハ記せし如く山田内務卿ハ郷視を終へて昨日歸京されたり

○賞賜　三條太政大臣ハは曩ハ鹿兒嶋逆徒征討の際軍團并ハ病院等へ菓子料として金百圓及び清酒等を寄贈せられ華族從三位細川護久君ハは右同斷需用品料として金二千圓大教正大谷光勝君ハと同金千五百圓を寄贈せられしハ付其賞として金銀杯を賜ハる各差ハり其餘同斷に付寄贈ありし華族、教正、各省官吏等四十二名へ銀杯木杯賞狀等と賜ハるゝ旨昨日太政官より夫々御達ありしといふ

○勳賞寄贈　昨日の紙上ハ去月二十九日佛國政府より井上山縣井田等の諸君ハ勳賞を寄贈されし旨を記ゝさりしが右と同時ハ農商務權大書記官山高信離君へハクロッス、オフ、コンマンダルの勳賞を寄贈されしと

○英國書記官　今度英國公使館附況の書記官を命せられしダブリユウ、レ、ボーエル、トレンチ氏ハ一昨朝横濱入港の佛國郵船ダナイ號ハて來着されゝり

○官吏派出　農商務省より今度沖繩縣下地味檢査として官吏四五名を來る三月中旬頃派遣せらるゝよしハて此程出張官吏を夫々命せゝられたり

○武官御雇　日本政府ハては此度新たハ佛國より士官下士官合ハせて七名程を雇入れらるゝやの風說ありとエコー、ヂユ、ジアポンハ見へたり

○樂隊教師の交代　昨日の紙上ハ記したる陸軍軍樂隊ハ御雇教師佛國人ダグロン氏ハ多年教導團ハあり軍樂ハ教授ハ勉勵されし處本月ハ滿期解雇ハて不日本國ハ出帆され其後任として同國ハ他の教師一名晩とも本年七月まてハ東京ハ着する等ありとゝ

○衛生事務總理　此度衛生事業擴張ハ付ては衛生事務總理一員を置るゝ哉の噂ありゝ

○艦隊條例　海軍規程局ハ於て先頃より取調中ありし艦隊條例は此程全く脫稿して其筋へ上申せられしよしなをを不日發令せらるべしと聞く

○海軍服制改正　海軍服制を近々改正せゝるゝよしハて目下同省ハて調査中なる由

○陸軍大學校位置　陸軍大學校の位置ハ兼て戸山學校及び參謀本部の擔内ハ在る各鎮台士官下士官の傳授所を以て當分代用せらるゝよしハて目今協議中のよし

○長崎工作分局　工部省所轄長崎工作分局ハ一時ハ人兵ハ御拂下ハも成る哉の噂ありしが今聞く處ハ由れば該工作分局は造船所もありて港内の場所柄都合も良ければ尙ゝ擔内を擴め盛んハ造船事務を勤先ゝる由

○改稱　農商務省山林局統計課ハ掌計課と改稱されゝる旨夫々へ達せらるし

○會計正副主務　鈴木農商務權書記官ハ内海同樞管理局會計主務官ハ内海同樞ハ任せゝられたり

○大砲廻送　大坂砲兵工廠ハ在る砲十門ハ先般近衛砲兵大隊へ五門を同廠より廻送ありし

○在韓兵卒　當時朝鮮國ハ在る氣候防の爲め耳覆ひ並に手袋軍省ハは廣島鎮台へ達せらる

○勳章授與人員　去る明治十年間陸軍々人の勳章を拜受せし名ありと

○陸軍電信隊　陸軍電信隊ハ隊せし電信技術生徒十名の卒より執行さるゝよし

○教導團生徒　陸軍教導團ハるゲ已ハ入營せし分四十四名砲兵六名工兵七名騎兵六名ハ

○皇孫兵籍ハ入る　英國皇太トルハ宮ハは近々陸軍ハ就職蘇格蘭ハ兵營ハて下士官を勤ウエールスの宮の仰せハて先せられ然る後更ハ上官ハ進ま

ハ出でゝ

○居留人取締　清韓両國へ居則の儀ハ付當て井上外務卿ハるゝとも聞れば此程參事院ハを開かれ既ハ決議ハ至りしを發布せゝるゝと云ふ

○清國公使館ハ注意　同館ハを聞くより各新聞紙ハ記載せの上本國政府へ毎々報知せし猶一層明細ハ取調べ遺漏なく申越せしと聞しゲ果して信ハ

○火災御用心　宮内省ハてハか愈昨二十二日より宮中總る事を廢せられ自今所室とも水油を用ひゝるゝ事ハ改正さるよし

○新聞配達の飛　凡ろ新聞紙を速ゝハし且つ配達ハ毎朝極と愈左ハ思ふ一話を聞けり二新聞社の配達ゲ其日發兌の新北甲賀町を通り掛りしハ向ふ